

巻 頭 言

2025 年行事予定 (2025 年 3 月現在)

- 3 月 15 日(土) 2024 年度第 6 回理事会
- 4 月 26 日(土) 2025 年度第 1 回理事会
- 5 月 23 日(金) 第 4 回年次大会(札幌)
- ～5 月 24 日(土) 第 2 回理事会
社員総会：決算承認
第 3 回理事会
- 5 月 30 日(金) 第 4 回年次大会
- ～6 月 15 日(日) オンデマンド配信
- 6 月 3 日(火) 2025 年度教育セミナー
- ～6 月 30 日(月) (講義資料配布 + 講義動画オンデマンド配信)
- 7 月 18 日(金) 第 42 回臨床検査振興セミナー (御茶ノ水)
- 7 月 31 日(木) 第 4 回理事会
- 8 月 6 日(水) こども霞が関見学デー
- ～8 月 7 日(木)
- 8 月 28 日(木) 第 72 回日本臨床検査医学会学術集会(幕張)
- ～8 月 31 日(日)
- 8 月 28 日(木) 第 5 回理事会、臨時社員総会・講演会
- 8 月 29 日(金) 共催シンポジウム
- 11 月 11 日(火) 臨床検査の日全国検査と健康展(11 月～12 月)
11 月 11 日つなぎの日イベント参加

【目次】

- p.1 巻頭言
- p.2 事務局からのお知らせ：会員動向、第 4 回年次大会報告、
- p.3 2024 年「全国検査と健康展」報告、2024 年「11 月 11 日つなぎの日」活動報告、2025 年度 第 4 回年次大会、2025 年度教育セミナー開催予告、会員システム稼働のお知らせ、2024 年度会費振込のお願い
- p.4 住所変更・所属変更に伴う事務局への通知について、会員の声
- p.5 会員の声
- p.6 会員の声、編集後記



りんしょう犬さんスタンプ
購入サイト

りんしょう犬さん LINE スタンプの検索方法

LINE→ウォレット→スタンプショップ



「りんしょう犬さん」を検索
検索結果→「クリエイターズ」を選択

<https://store.line.me/stickershop/product/8679516>

※ 収益が発生した場合は全て「臨床検査」の重要性を
社会に伝える活動に使用させていただきます

第 72 回日本臨床検査医学会学術集会を 2025 年 8 月 28 日(木)～31 日(日)
の 4 日間、幕張メッセ国際会議場(千葉)で開催いたします

第 72 回日本臨床検査医学会学術集会 会長 大西 宏明
杏林大学医学部臨床検査医学教室 教授

第 72 回日本臨床検査医学会学術集会の会長を拝命いたしました、杏林大学医学部臨床検査医学教室の大西でございます。2025 年 8 月 28 日(木)～8 月 31 日(日)の 4 日間、千葉県の幕張メッセ国際会議場で開催する運びとなりました。伝統ある本学術集会を担当させていただき、大変光栄に存じますとともに、身の引き締まる思いです。

本学会は、臨床検査医学の発展とともに、医療の質の向上に寄与することを目的としております。私たちは、日々進化する医療技術とともに、臨床検査の役割がますます重要になっていることを実感しています。本学会では、最新の研究成果や技術革新を共有し、臨床検査の未来を見据えた議論を行う場としたいと考えております。

プログラムといたしましては、一般口演、ポスター発表に加え、特別講演、教育講演、シンポジウム、委員会企画、各種セミナー、RCPC、ICD 講演会、企業展示など、さまざまな企画を準備いたしており、これまでに皆様のご協力により多数の演題の登録や企画のご提案をいただいております。

一方、学術集会は、異なる専門分野の皆様が一堂に会し、知識と経験を共有する貴重な機会でもあります。本学会は、臨床検査に関わる医師および臨床検査技師の会員が多く在籍されていることが大きな特色です。多数の医師・臨床検査技師の会員の皆様に、魅力的な演題をご発表いただくことで、他職種間の活発な交流により新たな発見やアイデアが生まれることを期待しております。特に、日常の検査の現場は、学問・研究の種の宝庫であり、それらを皆で楽しみながら議論するのが学術集会の醍醐味です。さらに今回は、異分野の方々からの講演やシンポジウムも企画しており、参加の方々の知的好奇心を刺激する内容となっております。ぜひとも皆様の積極的なご参加をお願い申し上げます。

会場となる幕張は、ディズニーランドや幕張海浜公園が近くにあるなど、学術集会以外のアクティビティも多く楽しめます。また、最寄り駅の海浜幕張駅は東京駅から快速電車で約 30 分の距離であり、一方空路でも成田・羽田の両空港の中間地点に位置し、直通高速バスでいずれも約 40 分と、関東圏外の会員の皆様からも来場しやすいアクセス環境となっております。今回は、会場の都合で盛夏時の開催となりましたが、服装はスタッフを含め軽装を旨といたしますので、夏休みを利用して少し足を延ばしてこれらのスポットを訪れてみられてはいかがでしょうか？

本学会の開催にあたり、関係の皆様のご多大なるご支援とご協力に心より感謝申し上げますとともに、皆様と現地でお会いできますことを心待ちにいたしております。

【事務局からのお知らせ】

【会員動向】

2025年6月1日現在数 626 名、専門医 518 名

【新入会員】（敬称略）

平山 一久 浜松医療センター臨床検査科
 安井 由紀子 東京都立大久保病院検査科
 加藤 卓 藤田医科大学臨床検査科
 大西 由希子 関西医科大学付属病院臨床検査医学センター
 大塚 匡恵 自衛隊中央病院教育訓練課
 田原 明人 鹿児島大学血管代謝病理解析学分野
 賀来 敬仁 長崎大学病院臨床検査科
 佐藤 浩一郎 東京女子医科大学附属足立医療センター
 検査科・消化器内視鏡科
 原 朋子 埼玉県立小児医療センター消化器・肝臓科
 鶴田 ひかる 慶應義塾大学病院臨床検査医学
 宮下 竜伊 東京医科大学病院臨床検査医学科
 小橋 友理江 福島県立医科大学臨床検査医学講座
 村瀬 隆之 災害医療センター臨床検査科
 長瀬 大輔 東邦大学医療センター大森病院血液・腫瘍科
 吹譚 紀子 島根県立中央病院検査診断科
 羽立 登志美 愛媛大学医学部附属病院糖尿病内科
 日野 クリスティーナ礼子 大田市立病院医局

【退会会員】（敬称略）

真里谷 靖 青森労災病院
 新谷 憲治 淳風会健康管理センター
 小谷 和彦 自治医科大学
 渡邊 広祐 東京大学医学部附属病院
 中川 俊正 東海大学医学部
 渥美 治世 国立病院機構呉医療センター
 谷山 清己 順天堂大学医学部
 一色 美和 那覇市立病院
 吉川 康二 東北大学大学院
 張替 秀郎 大分岡病院
 辻 浩一 公立学校共済組合四国中央病院
 山本 洋介 岡田医院
 大瀧 学 神戸大学医学部附属病院
 河野 誠司 三重大学医学部附属病院
 小塚 祐司 自治医科大学
 紺野 啓 みよしクリニック
 佐藤 猛 山梨大学医学部附属病院
 高野 勝弘 名古屋大学医学部附属病院
 長坂 徹郎 広島赤十字原爆病院
 藤原 恵 昭和大学藤が丘病院
 山口 史博 防衛医科大学校
 関澤 明德 いわくら病院
 荏原 順一

【第4回年次大会開催報告】

この度、5月23日から24日にかけて、第4回年次大会を無事開催することができました。本大会のテーマは「Up-to-date 臨床検査 北海道から発信」であり、教育講演 10 講演とランチョンセミナーにより、7つの専門領域にわたる最新の知見が共有されました。専門医講習としては領域講習 5 単位、共通講習 2 単位が認可されました。さらに、オンデマンド配信も行い、多くの方々にご参加いただきました。活発な意見交換が行われたことを嬉しく思います。現地参加者とオンデマンド参加希望者は合わせて 200 名を超えました。ご参加の

皆様の一助になれたのであれば幸いです。

札幌市は大会開催時、ライラックまつりで賑わっており、参加者の皆様にもその美しい花々を楽しんでいただけたと思います。講演者、座長の皆様をはじめ、大会参加者の皆様に心からの感謝を申し上げます。また、協賛企業の皆様のご支援、大会運営にご尽力くださった北海道医療大学の関係者、専門医会の関係者の皆様にも深く感謝いたします。

次回 2026 年の第 5 回年次大会は、今年と同じく 5 月 23 日・24 日に千葉大学墨田キャンパスで開催される予定です。今年に引き続き、皆様のご支援とご参加を心よりお待ちしております。

大会長 北海道医療大学医療技術学部 幸村 近



【2025 年度日本臨床検査専門医会 行事予定・予算】

2025 年度日本臨床検査専門医会、行事予定（表 1）、予算（表 2）について理事会より報告いたします。

表 1 日本臨床検査専門医会年間行事予定表
(2025 年 4 月～2026 年 3 月)

日 時	内 容	開催場所	担当責任者
4月26日	2025 年第 1 回理事会		庶務
5月23日 ～ 24日	第 4 回年次大会 第 2 回理事会 第 3 回理事会	札幌アスティ 45 + オンデマンド配信	幸村会長 庶務
5月30日～ 6月15日	第 4 回年次大会オンデマンド配信	オンデマンド配信	教育研修委員長
6月 3日 ～ 30日	第 95 回教育セミナー	オンデマンド配信	教育研修委員長
7月18日	第 42 回臨床検査 振興セミナー	御茶ノ水 ソラシティ	渉外委員長
7月31日	第 4 回理事会		庶務
8月 6日 ～ 7日	こども霞が関見学デー	厚生労働省	広報ネットワーク 委員長
8月28日 ～ 31日	第 72 回日本臨床検査 医学会学術集会	幕張	庶務
28日 29日	第 5 回理事会 臨時社員総会・講演会 共催シンポジウム		庶務
11月	臨床検査の日 11 月 11 日つなぎの日 イベント参加 全国検査と健康展	開催形式未定	広報ネットワーク 委員長 渉外委員長
2026年 3月	第 6 回理事会	開催形式未定	庶務
* JACLaP NEWS 年 3 回発行 * LabCP 年 2 回発行			

表 2 2025 年度予算
2025 年 4 月 1 日から 2026 年 3 月 31 日まで

(単位：円)					
		項 目	2025年度予算額	2024年度予算額 (補正)	増減
収入欄	会費	会員会費	5,400,000	5,400,000	0
		賛助会員会費・寄付金	3,100,000	3,100,000	0
		小 計	8,500,000	8,500,000	0
	その他入金	広告収入	480,000	160,000	320,000
		教育セミナー参加費	600,000	500,000	100,000
		振興セミナー参加費	100,000	100,000	0
		年次大会収入	4,440,000	3,529,000	911,000
		利息	1,000	1,000	0
		雑収入	11,000	11,000	0
		小 計	5,632,000	4,301,000	1,331,000
入金合計		14,132,000	12,801,000	1,331,000	
支出欄	庶務経費	事務所維持費	1,926,000	1,832,000	94,000
		人件費	1,700,000	1,930,000	▲ 230,000
		設備費	8,000	8,000	0
		電話・FAX使用料	54,000	54,000	0
		通信費（事務局）	136,000	200,000	▲ 64,000
		顧問料	462,000	462,000	0
		事務局雑費	64,000	64,000	0
		小 計	4,350,000	4,550,000	▲ 200,000
	事業経費	印刷代	1,300,000	1,020,000	280,000
		通信費	660,000	870,000	▲ 210,000
		年次大会費	4,940,000	5,060,817	▲ 120,817
		臨床検査振興セミナー費	520,000	620,000	▲ 100,000
		教育研修事業費	350,000	360,000	▲ 10,000
		会議費	280,000	400,000	▲ 120,000
		交通費	60,000	80,000	▲ 20,000
		原稿料	80,000	40,000	40,000
		HP維持費	396,000	396,000	0
		会員管理委託費	462,000	132,000	330,000
		広報ネットワーク委員会関連費用	50,000	50,000	0
JCCLS会費		50,000	50,000	0	
WASPALM会費		64,000	64,000	0	
臨床検査振興協議会	300,000	300,000	0		
内保連	200,000	200,000	0		
小 計	9,712,000	9,642,817	69,183		
法人税等		70,000	70,000	0	
出 金 合 計		14,132,000	14,262,817	▲ 130,817	
収 支		0	▲ 1,461,817	1,461,817	

【2025 年度定時社員総会報告】

2025 年度一般社団法人日本臨床検査専門医会定時社員総会は 2025 年 5 月 23 日（金）に札幌市中央区北 4 条西 5 丁目 アスティ 45 ACU-A 16 階にて開催されました。正会員数 584 名中現地参加 36 名。事前の委任状提出が 254 名あり、定款上の規定を満たしたため、総会は成立し、下記審議事項の他、各委員会委員長からの前年度総括の活動報告がありました。詳細についてはホームページに掲載予定です。

主な審議事項として 2024 年度事業・決算（表 3-1、2）承認、2025 年度～26 年度新役員候補承認がありました。各議案と承認されました。総会終了後第 3 回理事会が開催され、その後新役員体制が発表されました。

2024 年度事業内容

(1) 刊行物（情報出版委員会）

JACLaP NEWS 148 号～150 号

LabCP Vol.41・42No.1 合併号, Vol. 42No.2

電子メール新聞 JACLaP WIRE No279～283

(2) 会議等

第 1～6 回理事会（うち、第 4 回はメール審議によるみなし会議）

2024 年度 定時社員総会（2024 年 6 月 29 日）

2024 年度 臨時社員総会（2024 年 11 月 28 日）

2025～26 年度 理事・監事候補者選挙

各種委員会活動

表 3-1 2024 年度 正味財産増減計算書
2024 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日まで

(単位：円)				
項 目		2024年度補正予算	2024年度決算	予算と決算の差
収入欄	会費等	5,400,000	5,420,000	20,000
	賛助会員会費・寄付金	3,100,000	3,100,000	0
	小 計	8,500,000	8,520,000	20,000
	広告収入	160,000	160,000	0
	教育セミナー参加費	500,000	584,000	84,000
	振興セミナー参加費	100,000	36,000	△ 64,000
	年次大会収入	3,529,000	3,529,000	0
	利息	1,000	970	△ 30
	雑収入	11,000	20,579	9,579
	小 計	4,301,000	4,330,549	29,549
	収 入 合 計	12,801,000	12,850,549	49,549
支出欄	事務所維持費	1,832,000	1,837,824	5,824
	人件費	1,930,000	1,854,467	△ 75,533
	設備費	8,000	0	△ 8,000
	電話・FAX使用料	54,000	100,276	46,276
	通信費（事務局）	200,000	302,390	102,390
	顧問料	462,000	462,000	0
	事務局雑費	64,000	142,983	78,983
	小 計	4,550,000	4,699,940	149,940
	印刷代	1,020,000	1,318,688	298,688
	通信費	870,000	906,297	36,297
	年次大会費	5,060,817	5,060,617	△ 200
	臨床検査振興セミナー費	620,000	786,479	166,479
	教育研修事業費	360,000	362,068	2,068
	会議費	400,000	336,054	△ 63,946
	交通費	80,000	176,448	96,448
	原稿料	40,000	155,918	115,918
	HP維持費	396,000	396,000	0
	会員管理委託費	132,000	462,000	330,000
	広報ネットワーク委員会関連費用	50,000	30,675	△ 19,325
	JCCLS会費	50,000	50,000	0
	WASPALM会費	64,000	76,424	12,424
	臨床検査振興協議会	300,000	300,000	0
	内保連	200,000	200,000	0
	雑費	0	29,150	29,150
	小 計	9,642,817	10,646,818	1,004,001
	法人税等	70,000	70,000	0
	支 出 合 計	14,262,817	15,416,758	1,153,941
	当期経常増減額（収入－支出）	△ 1,461,817	△ 2,566,209	△ 1,104,392
	正味財産期首残高	29,554,598	29,554,598	0
	正味財産期末残高	28,092,781	26,988,389	△ 1,104,392

表 3-2 貸借対照表

2025 年 3 月 31 日現在

(単位：円)			
科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	29,302,848	31,025,307	△ 1,722,459
未収金	239,268	200,289	38,979
前払金	210,556	143,865	66,691
貯蔵品	0	5,000	△ 5,000
流動資産合計	29,752,672	31,374,461	△ 1,621,789
資産合計	29,752,672	31,374,461	△ 1,621,789
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	1,014,671	526,415	488,256
前受金	1,406,000	1,130,000	276,000
前受会費	260,000	75,000	185,000
預り金	13,612	18,448	△ 4,836
未払法人税等	70,000	70,000	0
流動負債合計	2,764,283	1,819,863	944,420
負債合計	2,764,283	1,819,863	944,420
III 正味財産の部			
正味財産	26,988,389	29,554,598	△ 2,566,209
正味財産合計	26,988,389	29,554,598	△ 2,566,209
負債及び正味財産合計	29,752,672	31,374,461	△ 1,621,789

(3) 年次大会・セミナー等

日本臨床検査専門医会第 3 回年次大会

(2024 年 6 月 29 日～30 日：和歌山県田辺市・
同 7 月 11 日～25 日オンデマンド配信)

第 13 回 生涯教育講演会

(2024 年 6 月 29 日・同 7 月 11 日～25 日オンデマンド配信)
第 93 回 教育セミナー

(2024 年 5 月 20 日～6 月 3 日：オンデマンド配信)

同「受講者の集い」2024 年 5 月 30 日 WEB 開催)

第 41 回 振興セミナー

(2024 年 7 月 26 日東京都 御茶ノ水ソラシティカンファレンス

センター)

2024 年度 社員総会講演会・共催シンポジウム (2024 年 11 月:
大阪府)

(4)その他活動

「臨床検査の日」広報活動、霞が関こども見学デー共催、臨床検査ハンズオンセミナー共催、全国「検査と健康展」共催、JACLaS EXPO 共同出展、令和 8 年度診療報酬改定に関する活動

【2025 年度から 26 年度新役員】

選挙理事: 伊藤 弘康 (藤田医科大学医学部臨床検査科)、金子 誠 (三井記念病院臨床検査部)、鯉淵 晴美 (自治医科大学臨床検査医学講座)、田部 陽子 (順天堂大学薬学部)、増田 亜希子 (虎の門病院分院臨床検査部)、松下 一之 (千葉大学医学部附属病院検査部)、村上 正巳 (国際医療福祉大学病院臨床検査部)、山口 宏茂 (株 兵庫県登録衛生検査センター)、山田 俊幸 (群馬パース大学医療技術学部検査技術学科)

指名理事: 浅井 さとみ (東海大学医学部基盤診療学系臨床検査学)、今井 裕 (三重大学医学部附属病院病理部)、植木 重治 (秋田大学大学院医学系研究科総合診療・検査診断学講座)、上岡 樹生 (天理よろづ相談所病院臨床検査部)、北中 明 (川崎医科大学検査診断学)、幸村 近 (北海道医療大学医療技術学部)、橋口 照人 (鹿児島大学大学院医歯学総合研究科血管代謝病態解析学分野)

監事: 〆谷 直人 (2025-2028) (国際医療福祉大学熱海病院検査部)、菊池 春人 (2023-2026) (済生会横浜市東部病院臨床検査科)

【こども霞が関見学デー】(日本臨床検査振興協議会共催)

2025 年 8 月 6 日(水)～7 日(木)に今年も共催いたします。本会からは専攻医を派遣し、臨床検査の実体験をメインテーマにしたコーナーで血管動画の説明を担当します。専攻医の方複数名にも公募による協力をお願いしました(地域医療への経験 1 回分に相当)。

【11 月 11 日の記念日】つなぎ委員会活動 担当: 山口宏茂
(株) 兵庫県登録衛生検査センター)

毎年、11 月 11 日の臨床検査の日として制定されているが、他の専門医会内でも認知度が低い。医療業界に拘らず 11 月 11 日を記念日としている臨床検査に関わる以下の 4 団体とともにこの記念日の周知を図る。

- ・マルタイ(棒ラーメンの日)
- ・ピップ社(磁気の日)
- ・やおきん(うまい棒の日)
- ・株式会社ヤガイ(ヤガイペンシルの日)
- ・すみだ水族館(チンアナゴの日)
- ・日本臨床検査専門医会(臨床検査の日)

【第 42 回臨床検査振興セミナー】

2025 年 7 月 18 日(金)13:55～16:55 に御茶ノ水ソラシティカンファレンスセンターにて、テーマを「医療 DX と臨床検査」で開催します。セミナーは、3 つの講演と総合討論で構成され、終了後は会員と賛助会員による情報交換会も予定しています。

【会員の声: 次世代の臨床検査専門医】

緑の下の方持ち一臨床検査専門医研修と子育て一

獨協医科大学 ゲノム診断・臨床検査医学
伊藤裕佳

獨協医科大学 ゲノム診断・臨床検査医学(旧感染制御・臨床検査医学)の伊藤裕佳と申します。2021 年度より臨床検査専門医研

修を開始し、この度、2024 年度臨床検査専門医認定試験にて合格をいただき、お仲間に加えていただけますことを嬉しく思います。

現在、3 人の育児をしており、週 5 日育児短時間勤務(常勤)、カリキュラム制にて専門医研修を修了しました。研修期間中、教育セミナーを毎年受講し、医学生・研修医のための臨床検査ハンズオンセミナーや合格者と受講者のつどいにも参加させていただきました。お忙しい中開催していただきありがとうございました。大変有意義で、全国には多くの先輩方がおり、交流の輪が広がっていることを知る良い機会となりました。

研修では、指導医の先生方はもちろん、当院には各分野のスペシャリストである検査技師らが多数おり、経験に基づく教科書からでは学べない膨大な情報量と技術に感銘を受けるばかりでした。先輩パパさん・ママさんも多く働いていて、何度も挫折そうになりましたが、励ましていただきながら、充実した 3 年間を過ごしました。

試験勉強に関しては、知識の定着を図るため、レポート(計 400 症例程度)を作成するときや医学部学生実習を担当するとき(週 2 回)にアウトプットすることを意識しました。私の場合は子育てで時間が限られていましたが、多くの先生が限られた時間の中で試験勉強をすることになると思います。心より応援しております。

さて、基本領域の専門医取得後、入局当初からの目標であった臨床遺伝専門医の取得に向けて舵を取りはじめますが、遺伝子関連検査は 1) 病原体遺伝子検査 2) ヒト体細胞遺伝子検査 3) ヒト遺伝学的検査 の 3 つに大別されます。現在設けられているいくつかの資格とは異なり、3 つすべての検査を網羅し、精通した人材として活躍できることが、臨床検査をバックグラウンドにもつ強みかと実感しております。いまやゲノム情報を基盤とした検査・診断・治療は、全診療科にとって重要な役割を担っています。まだまだ未熟者ですが、精一杯頑張りたいと思いますので、今後とも宜しく願い申し上げます。

臨床検査専門医を取得して

九州大学医学研究院 臨床検査医学分野
金地 佐千子

この度臨床検査専門医の仲間入りをさせていただきました、九州大学臨床検査医学分野の金地佐千子と申します。まず初めに佐賀大学在籍時にご指導いただきました出原賢治先生、末岡榮三朗先生、佐賀大学検査部の皆様、2024 年度よりお世話になっております九州大学検査部の皆様、そして教育セミナー講師の先生方、認定試験の準備・開催に関わってくださった事務局・関係者の皆様にこの場を借りて厚く御礼を申し上げます。

私は 1996 年に九州大学を卒業し第一内科に入局しました。大学院在籍中に夫の留学に伴い渡米し、私自身も Scripps 研究所で約 2 年半、血小板研究に従事しました。途中 2 度の出産を経て 2003 年に帰国し、佐賀大学に赴任後、所属先の出原教授が検査部部長を併任されていたこともあり、臨床検査医学研修をさせていただきました。この期間、血小板異常や凝固異常などの症例を検査部からご相談頂くこともあり、血液検査室技師の方々と一緒に遺伝子検査や病態解析にも取り組みました。当初は研修期間を終えたら専門医認定試験を受験したいと思っていましたが、子育てに追われていたこともあり、受験機会のないまま 2008 年より家族 4 人で再び渡米することになりました。2 度目の留学ではウィスコンシン血液センター(現 Versiti)で von Willebrand 病などの出血性疾患の研究を開始し、5 年後の 2013 年には再び Scripps 研究所に移り、以後帰国までの 10 年半、血栓止血分野の研究を継続しました。Scripps 研究所のあるサンディエゴは気候も温暖で住みやすく、また夫が NIH グラントを取得

してファカルティーになったこともあり、私もシニアスタッフサイエンティストとして研究を継続し、気がつくとすっかり在米期間が長期化してしまいました。永住権を取得したこともあり、そのままアメリカで研究生活を続ける事も考えましたが、子どもたちの高校卒業を機に帰国を考えるようになりました。夫の支援もあり日本で血栓止血分野の研究継続の方法を模索していたところ、応募していた国際共同研究加速基金(帰国発展研究)が採択され、その後母校である九州大学の臨床検査医学分野への赴任が決まりました。そして2024年4月の九大検査部への赴任を機に、渡米前に受験できていなかった臨床検査専門医試験への挑戦を目標に掲げました。ただ研修を終えてから長期間経過しており、これらの幅広い分野の知識を短期間でアップデートするのは大きな試練となりました。毎日の業務終了後、研究室に残って参考書を片手に受験勉強に取り組んでいると周囲から「苦学生みたいですね。」と言われたこともありました。最初は試験勉強にどう取り組んで良いのか分からず途方に暮れていましたが、教育セミナーの講演がとても参考になり、何度も繰り返し拝聴しました。また「受講者と合格者の集い」で同じ目標に向けて頑張っている同士と交流できたことは大きな励みとなり、合格者の先輩からご助言をいただいたことも大変参考になりました。座学では学びきれないことも多く、技師長室に駆け込み教えていただいたり、検査室で実習させていただいたりしました。医学科学生の臨床実習に潜り込み、学生さんと一緒に各検査室を回ったのも大変勉強になりました。今回の受験は臨床検査について学び直すと同時に新転地での検査部の方々との交流を深めるきっかけにもなり、また大学病院の臨床が深い知識と経験を持った検査技師と周辺スタッフの方々に支えられて成り立っていることを改めて認識する良い機会となりました。

多くの方々のご支援を頂いたおかげで無事試験に合格し、臨床検査専門医の一員に加えていただくことができましたが、まだまだ足りていない知識や経験を補うべく日々精進していく所存です。またこれまでの血栓止血研究のバックグラウンドを活かして臨床検査医学に微力ながら少しでも貢献できればと思っております。九州大学検査部では以前から血栓性素因の検査が行われてきましたが、現在 von Willebrand 病をはじめとする出血性疾患の検査・診断システムの向上を目指しています。また臨床に還元できるような血小板の基礎研究を目指して、アメリカで作製した遺伝子改変マウスの復元を試みているところです。いずれも思うように進まず難渋することが多い状況ではありますが、これまでご支援くださった皆様への恩に報いるべく臨床と検査、研究の架け橋となれるよう、そして臨床検査医学の後進育成にも貢献できるよう尽力したいと思っております。今後ともご指導ご鞭撻のほど、どうぞよろしくお願い致します。

臨床検査専門医の仲間に入れていただきました

淀川キリスト教病院 臨床検査科
岩田 暢子

2024年度の日本専門医機構臨床検査専門医試験に合格させていただいた、大阪府内の市中病院、淀川キリスト教病院勤務の岩田暢子と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

もともと同院の総合内科医から血液内科医を長く務めておりましたが、2021年に施設内の臨床検査科責任者を拝命しまして、それに伴って、病院長から、臨床検査専門医の資格も取得しておいてはいかが？と勧められました。臨床検査科前任者の中川俊正先生にご紹介いただき、兵庫医科大学臨床検査医学講座、小柴賢洋主任教授(当時)のもと、自施設勤務の傍らカリキュラム制で3年間研修を受けさせていただくことになりました。

【臨床検査医学研修】

臨床検査技師のかたがたの中に混ざっていただいて一緒に業務

にあたりながら学ばせていただきました。検査室の「中の人」になる感じです。検体受付業務→細菌検査→一般・尿検査→生理機能検査→生化学→血液、輸血、の順で数か月ずつローテートしました。細菌検査には、最初だったこともあり血液内科を忘れてハマってしまいました。サルモネラ菌の(SS培地での)黒いコロニーを見て、鶏肉を食べるときはより念入りに火を入れるようにしたり、水回りのにおいをかいで「緑膿菌がおるナ」と気づいたり…。また当時はコロナ時代の真っ最中でPCR検査・LAMP検査のため検査室内は怒涛の不夜城のようでした…。

生理機能検査室では、自分はエコーを聴診器替わりに診断に用いなさいと習い研修医にも教えてきた内科医でしたが、現在の検査技師のエコー技術は精度と言い確診に至る深さと言い目を見張るものがあり、感嘆するばかりでした。

2022年度末からコロナ状況が緩み、兵庫医科大学で研修できる時間もぐんと増えました。内部精度管理委員会参加、毎日のすべての臨床検査はこれほど緻密な精度管理に支えられているのか！とくに学ぶことが多かったのは、毎週にも開催されていたRCPCでした。検査各部門から順に症例提示がありました。一般検査値のみ、病歴なしでこれほど多くのことが読み解けるとは！とくに学んだのは「比」の重要性です。LD/ASTを筆頭に、直接/総ビリルビン、UN/Cr、ほか、偽高値・偽低値のしくみ、…

【試験準備】

受験資格を得るためのレポートや報告書、実績を揃えるのが苦戦しました。A4症例レポート、各分野網羅して105例ぐらい(書けたら机の目の前に作った表に「正」の字を書いて埋めてゆく…)、加えてカリキュラム制の研修生は同じA4びっしりで180症例、足して約300症例、？、でしたが全症例が学びの宝庫、財産になりました。

【いざ受験】

2024年2～3月に兵庫医科大学ですべての書類を何度も精査していただき、小柴主任教授より追加講義も受け、2024年度の検査専門医受験資格を得ることができました。○年ぶりの集中した受験勉強、たいへんだったけれども、学びなおす時間はじつは楽しくもありました。遺伝子検査学などは成書の通読が中心でしたが、昔大学院生だったころ造血管腫瘍にかかわる遺伝子の研究にたずさわっていたことがあるので少しなつかしかったです。

8月4日受験日の前日に、会場まで歩いて行けるホテルに宿泊しました。近くの湯島天神に行き、会場周囲は散策できるようでしたので赤門から鉄門まで通り抜けしてみました。

試験は、内容も量も多く密度が濃く幅広く、実技はしばしば時間が足りず、むずかしかったです。でも、この試験を受けることを通じて、臨床検査医学会から受験生への真摯なメッセージを受け取ることができたように思います。

【現在とこれから】

合格通知を受け取って、とても嬉しかったです。今は自施設で、(受験勉強していて気づいた…)今まで取得していなかった検査関連加算(骨髓像、免疫電気泳動)を地道にとり始めています。検査室内においては精度管理の報告を受け、輸血管理料と感染対策向上加算にかかわる部門に身を置いています。

受験全体を通じて私が受け取った学会からのメッセージの一部をお分かちしますと、検査医はもっと、とくに医療安全と感染対策(ICT業務)において、能動的主体的にかかわってほしいというものがありました。医療安全においてはまず自分の部署で事案の共有とふりかえりの機会を増やすこと、ICTは講習を受け始めており、できることに一つ一つ着手しようと思っております。

兵庫医科大学でご指導くださった小柴賢洋先生、宮崎彩子先生、中野正祥先生、臨床検査技師の皆様、当院の臨床検査課スタッフ全員、受験にあたり試験日当日含めご指導やお世話をくださったすべての皆様に、深く感謝申し上げます。

臨床検査専門医取得への道とこれから―脳神経内科医の視点

東京大学医学部附属病院 検査部

代田 悠一郎

この度、諸先輩方のご指導のおかげで、無事に臨床検査専門医の資格を取得することができました。私はもともと脳神経内科医として、脳波・筋電図などの神経生理検査を中心に診療に携わっていましたが、2020年4月に検査部へ異動となり、以後、臨床検査全般を学ぶ機会を得ました。臨床検査医学の専門研修カリキュラムは、一部を内科研修の復習のつもりで軽い気持ちで始めたところ、精度管理など臨床検査医学ならではの奥深い領域にも触れ、その重要性を実感するに至りました。学ぶべき内容の膨大さに戸惑うこともありましたが、無事合格できてほっとしています。

おそらく、脳神経内科出身で臨床検査専門医を取得した医師は多くないのではないかと思います。しかし、私自身は両分野の間に強い結びつきがあると感じています。読者の皆様は、脳神経内科と聞いてどのような印象をお持ちでしょうか？細かな神経学的所見の話ばかりしている、診断はできても治療が難しい、マニアックだ―そんなイメージをお持ちの方もいるかもしれません。しかし、実際の臨床では、神経疾患の多くが全身疾患であり、脳神経内科医は単なる神経系の専門家にとどまらず、広い視野をもって全身を診る能力を有することが求められます。

脳神経内科診療の軸にあるのは「局在診断」であり、神経学所見をもとに病変の部位を特定することが脳神経内科医のアイデンティティです。しかし、そのようにして同定した病変が生じた機序を考察する際には、臨床検査データの解釈が欠かせません。同じ部位の病変であっても、炎症・腫瘍・感染・変性など、その原因は様々です。このような質的診断を行うには、検体検査をはじめとする各種検査のデータを正しく理解し、適切に活用する力が必要です。この点で、臨床検査医学と脳神経内科学の間には深い結びつきがあると感じました。

試験対策について言えば、臨床医学の多くの分野がそうであるように、ペーパーテストで求められる知識を定着させるには、実際の臨床経験が大きな助けとなります。特に、臨床検査専門医試験では実技試験が課されるため、現場での実習経験が試験対策にも直結すると感じました。もちろん、出題されうる検査のすべてを日常診療で十分に経験することは難しいかもしれませんが、この点、日本臨床検査専門医会の教育セミナーは、試験対策として非常に有益でした。私は受験した年(2024年)以外には1回しか参加できませんでしたが、試験対策のためだけでなく、日常の臨床検査診療の理解を深めるため定期的に活用することにも有益であろうと感じました。また、所属施設で行われている各種検査手技を学び、日々の診療に活かすことも、当然、重要なことだと思います。

試験に合格し、一つの区切りを迎えましたが、これはあくまで出発点であり、今後も学び続けることが大切だと考えています。

これからも臨床検査医学と神経内科学の架け橋として、自分なりにお役に立てることがあればと思います。諸先輩方には引き続きご指導を賜れますと幸いですし、また、これから臨床検査専門医を目指す若手の先生方には、ぜひ新たな視点を持ち込んでいただき、臨床検査医学の発展に貢献していただければ願っています。

【会費納入のお願い】

2025年度より会員システム G system を導入しました。ログインの上、クレジットカードにて納入をお願いします。

2025 年度 年会費 (会計年度: 2025 年 4 月 ~ 2026 年 3 月): 10,000 円 (2025 年 4 月 1 日現在、70 歳以上の方は 5,000 円)

【住所変更・所属変更に伴う事務局への通知について】

住所・所属の変更にもなっており定期刊行物、JACLaPWIRE、電子メールなどの連絡が届かなくなる会員がいます。勤務先、住所および E-mail address 等の変更がありましたら必ず事務局までお知らせ下さい。変更事項は、マイページにログインの上、ご修正ください。ログインの仕方や変更についてご不明な点がございましたら事務局までご連絡ください。もしくはホームページから『会員情報変更届』をダウンロードして記載後、E-mail でお送りください。なお、本会では、JACLaPWIRE の配信を含め、セミナー開催情報等会員様への有用なお知らせを、必要に応じメール配信しております。E-mail address のご登録がお済みでない先生は、同様にマイページから追加もしくは、変更届を使用して事務局までお知らせくださいますようお願いいたします。

<連絡先>

日本臨床検査専門医会事務局 (水・土日祝祭日は休業日)

電話: 03-3864-0804 FAX 03-5823-4110

旧) メールアドレス: senmon-i@jaclp.org

新) メールアドレス: senmon-i@jaclap.org

*事務局メールアドレスのドメインが変更になりました。前アドレスでご登録をいただいている先生がいらっしゃいましたらご変更をお願いいたします。

【編集後記】

JACLaP NEWS は臨床検査専門医会の活動に会員にお知らせする媒体として編集を行ってまいりました。形式ばった報告のみでなく、議論を重ね、最近数年間は検査専門医への提言として我々検査専門医の先達によるエッセイ、また、新たな専門医の意気込みを会員の声として載せてまいりました。会員の先生方には楽しく読んでもらえたと信じております。この度 2025 年からの新たな役員が選出されました。新委員会による JACLaP NEWS にも会員の先生方のお力をお貸しください。

(昭和医療技術専門学校 福地 邦彦)

一般社団法人 日本臨床検査専門医会

理 事 長: 山田俊幸、副理事長: 田部陽子

常 任 理 事: 村上正巳(庶務)、増田亜希子(会計)、田部陽子(資格審査・規定改定委員会委員長)、伊藤弘康(渉外委員会委員長)、

金子 誠(情報・出版委員会委員長)、松下一之(保険点数・データシステム委員会委員長)、山口宏茂(広報・ネットワーク運営委員会委員長)、

鯉淵晴美(教育研修委員会委員長)

理 事: 幸村 近、植木重治、浅井さとみ、今井 裕、上岡樹生、北中 明、橋口照人

監 事: 菊池春人、谷直人

情報・出版委員会:

委員長: 金子 誠

一般社団法人 日本臨床検査専門医会事務局

〒101-0027 東京都千代田区神田平河町1番地 第3東ビル908号

TEL: 03-3864-0804 FAX: 03-5823-4110 E-mail: senmon-i@jaclap.org